

# みなさんと力を合わせ、丸山慎一は 一步一步実現してきました。

## 「あいさつ」

県議会の休憩中、ある議員が「なんだか、共産党の言う通りになっていくなあ」とつぶやきました。後期高齢者医療制度の廃止や子どもの医療費助成の拡大が話題になったときでした。

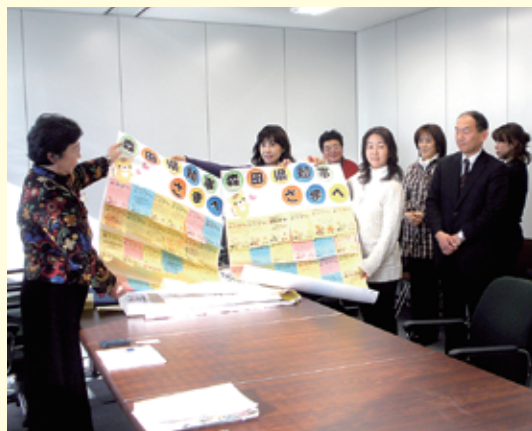
日本共産党の議席は決して多くはありません。でも、その主張が実現するのは、議会の中では少数でも、議会の外では大多数の住民の声を代表しているからだと思います。

これからも、みなさんの声に耳をかたむけ、みなさんと一緒に動き、みなさんと力を合わせて政治を動かし、要求実現へ力いっぱいがんばります。

## 子どもの医療費助成

### 制度すらなかった千葉県 小学校3年生まで拡大

昨年12月から、子どもの医療費への助成が小学校3年生までに拡がりました。日本共産党は、長年他党に反対されても、「新日本婦人の会」などが提出する請願の紹介議員となり、議会のたびに質問してきました。



新日本婦人の会千葉県本部が乳幼児医療費助成の拡充を求める県民の声を知事に提出

ようやく1996年、通院への助成が実現します。対象は「0歳児のみ」。それを一步一步みなさんとの共同を広げ、通院、入院とも小学3年生までに拡大してきました。

## 私学助成

### 「ピンはね」是正し、 上乗せを実施

日本共産党は、国からきた私学助成金を県が流用していることを真っ先に告発し、是正を求めてきました。2年前の知事選でも争点となり、県民の怒りと、日本共産党の議会での追及によって改善され、今年度はさらに、高校生1人あたり6000円、幼稚園児6000円の県独自の上乗せを実現させました。

## 特養ホーム

### 入りづらい特養ホームに風穴 建設費補助を1.6倍に増額

千葉県は、高齢者人口当たりの特別養護老人ホームの定員が全国最下位。待機者は1万7858人（船橋867人）です。丸山県議は実態を示し、建設目標の引き上げ、県の補助金の増額を求めてきました。ついに建設補助金が定員一人当たり約250万円から400万円に増額され、今年度の特養ホームの建設数は、1782人分に増え、昨年度の790人分を上回りました。

